

2017 年度 電気通信大学 基盤理工学専攻 物理工学特論

「固体分光入門」

Vladimir S. Krivobok レベデフ物理研究所・モスクワ物理工科大学

Vladimir S. Krivobok 先生は、固体物理学、半導体（バルク、ナノ構造）、光学分光がご専門で、最近では半導体単一量子光源、低次元電子 - ホール系の相転移、等方的な物質の分光などのご研究を精力的に進めていらっしゃる気鋭の研究者です。また、ランダウ、カピッツァなどで知られるモスクワ物理工科大学で教鞭をとっておられる優れた教育者でもあります。本年度の物理工学特論では、「固体分光入門」について最近の理論および実験手法について、固体分光の基礎的なところから最先端の研究成果まで、電通大の学生のみなさまに合わせて丁寧に解説して頂きます。講義は全て英語で行われます。

<時間割>

7月24日（月）3限
25日（火）1限、2限
26日（水）2限、3限
27日（木）3限、4限
28日（金）2限、3限
31日（月）2限、3限
8月 1日（火）2限、3限
2日（水）1限、2限
3日（木）3限

<場所>

電気通信大学 教室未定

<内容>

- 1、周期構造（～1コマ）
- 2、固体の種類（～1コマ）
- 3、固体の電子構造計算のための主な方法（～4コマ）
- 4、原子の振動と電子 - フォノン相互作用（～3コマ）
- 5、1電子近似での光と物質の相互作用の基礎（～4コマ）
- 6、1電子近似を超えたいくつかの現象（～3コマ）
- 7、光学分光の種類（～1コマ）

<連絡先>

森下亨（量子科学研究センター） ex 5458

<http://power1.pc.uec.ac.jp/~toru/AEP>



***** 6月末に教務課よりアナウンスがあり、7月中に履修登録の予定 *****